

時田 かずいちろう 事務所

〒916-0141 丹生郡越前町西田中2丁目606

電話：0778-34-2533

メール：fs-asahi@ebony.plala.or.jp

## 目次 Contents

### 01 新年のご挨拶

### 02 一般質問

### 03 活動ダイアリー

✓ 一般質問 Part 1

原子力防災対策について

✓ 一般質問 Part 2

福井県とマレーシアの交流について

✓ 一般質問 Part 3

中京圏との連携強化について

※その他、物価高騰対策についての  
質問もしましたが、省略させていただきます。



フルバージョンはこちらから

## 新年のご挨拶

町民の皆様、遅ればせながら新年あけましておめでとうございます。日頃より大変お世話になり、また福井県政発展に向けた活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。まず、1月1日に起きた「令和6年能登半島地震」において犠牲になられた方々に心から哀悼の意を表しますとともに、被害にあわれた皆様にお見舞い申し上げます。越前町においても震度4を観測し、津波警報発表に伴い避難指示が発令され、8か所の避難所に650の方が避難されました。けがをされた方が1名出ましたが、あとは幸いにも物的被害はありませんでした。しかしながら地震後、越前地区を中心とする飲食店や宿泊施設などにおいてキャンセルが相次ぎ、予約数も激減しています。今後、県国とともに観光客を呼び込みつつ、県内の消費喚起を目指す支援を進めるよう要望し、実行して参ります。そしていよいよ3月16日には北陸新幹線の金沢敦賀間が開業されます。その開業効果を最大限に活かして、福井県そして越前町発展のために繋げていきたいと考えております。\*本年も越前町の明るい未来のために、皆様と共に全力を尽くして参りますので、今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

所属担当

会派「自民党福井県議会」  
常任委員会「総務教育委員会」

時田 かずいちろう

✓ 一般質問 Part 3

## 中京圏との連携強化について

県観光連盟の調査によると、県外観光客は愛知県・岐阜県からが約2割を占め、越前町に限るとその割合は27%になります。魚介類、海や山での自然体験を求める方が多く、郷土の歴史や文化にも関心が高いようです。

### 時田

冠山峠道路の開通を機に、岐阜県と福井県を結ぶ広域観光ルートを共同でPRするなどして、今まで掘めていなかった需要を掘り起こすことが必要と考えるが、今後の誘客拡大に向けた方策について、知事の所見を伺う。

### 知事

本当に予想以上というか、想定以上に効果が大きいと感じております。海、山、伝統工芸、そういう広々と本当に魅力的な場所が広がっていると考えています。新幹線の効果は決して新幹線で来る人だけではなくて、いろんな地域に波及していきますので、こういうものも活用して、特に中京圏には（クラウンロードができたよ！）こういうことも発信をさせていただいて、できるだけ多くの方たちに、丹南をはじめとして福井県内においていただけるように、しっかりと進めていきたいと思っています。（答弁抜粋）

### 時田

クラウンロード開通を契機に岐阜県への流通体制を整備し、県産の魚介類の販路をさらに広げるべきと考えるが、中京圏を対象とした今後の販路拡大策について、所見を伺う。

### 農林水産部長

愛知県や岐阜県の量販店ですとか、市場関係者の方々に、本県で漁獲されたブリ、サワラ、ふくいサーモンを売り込むなど、中京圏におけます販路拡大に取り組み、量販店の方々からは高い評価をいただいております。人口が多く、距離も比較的近い中京圏は、本県水産物の販売先として重要と考えております。今回のクラウンロードなど新たな交通網を活かした、販路拡大策につきまして、漁協をはじめといたしました関係者の方々と連携し、取り組んでまいります。（答弁抜粋）

### ✓ 活動ダイアリー



JAXA 宇宙航空研究開発機構 訪問



高速増殖炉もんじゅ視察



経済産業省訪問



永平寺町 自動運転視察



長野県 軽井沢町視察



福井県 東京事務所



# 福井県とマレーシアの交流について

越前町国際交流協会の事業で、昨年10月にマレーシアのセラングール州へ、越前町とマレーシアとの今後の交流の具体化と交流分野の拡大に向けた協議のため州観光局や政府機関等を訪問しました。福井県の中学、高校との交流に興味を示しており、観光、教育の分野においても連携、交流を進めていただきたいと思います。

## 時田

英語学習や探究活動の一環として、マレーシアのSBP<sup>\*</sup>と県内の中学校、高校とのオンライン交流を実施してはどうかと考えるが、所見を伺う。

※SBP(マレーシア国内に71校ある全寮制エリート校)

## 教育長

マレーシアは英語が広く使われ、日本との時差も少ないことから、オンライン交流を実施しやすいと考えております。今回ご提案のあったマレーシアのSBP校についても各県立高校および各市町を通じて中学校に紹介するなど、海外との交流を進め、探究的な学びへの活用および異文化理解の促進を図って参りたいと考えております。(答弁抜粋)

## 時田

越前町とマレーシアは、まずは観光、教育等いくつかの分野で協力、連携を進め、将来的には包括的な連携協定の締結まで交流を深めていきたいと考えるが、県の協力について知事の所見を伺う。

## 知事

セラングール州と越前町の交流は、相互の理解が促進され、国際的な理解が進み、子供たちも含めて国際人材が育つとか、地域の活性化とか、地域の国際化に結び付くということで大変歓迎すべきことです。マレーシアと日本、福井県との関係はかなり深い関係もございます。特に留学生については、県内に来られている留学生の1割はマレーシア人ということです。観光の誘客や、今申し上げたような高度人材の留学であったりとか、福井で働いていただくとか、こういった可能性も大変大きいと認識をいたしているところでございます。連携しながら、セラングール州なりマレーシア、それから越前町との交流、こういったものが深められるように我々としても協力を申し上げたいと考えております。(答弁抜粋)

## ✓ 活動ダイアリー

全国育樹祭いばらき 2023



# 原子力防災対策について

## 時田

原子力災害の避難の際に医療や除染が必要となった場合、トリアージを経て病院を選定して、誰かが病院まで運ぶことになるが、その点をどのように想定して訓練を行っているのか。

## 健康福祉部長

被ばく傷病者は、県内医療機関での受入を基本としますが、災害規模などによって県内での対応が困難な場合も想定されます。広域調整を担う機関として広島大学を中心に、本県の原子力発電所30km圏内に入る福井県含め、京都、滋賀、岐阜となりますが、この4府県で広域的な搬送・受入のあり方を議論してまいりました。他の自治体からは、自府県民に加え、他府県からの受入が必要な傷病者の人数あるいは傷病の程度などが不明確であるという意見もありまして、国に被害想定を求めているという現状でございます。引き続き、国や広島大学、関係府県とともに具体的な調整が進むように協議していきたいと考えております。(答弁抜粋)

## 時田

指示された避難経路を通らない避難者や、避難中に医療が必要となる場合なども想定されるため、避難先である府県のほか、避難経路上の府県についても、万一の場合に備えてどう連携するか計画を持っておくべきではないか。

## 防災安全部長

隣接府県をはじめ関係府県と連携した訓練は重要でありますことから、引き続き関係機関の参加を得て原子力総合防災訓練を実施し、広域避難の実効性を高めてまいります。(答弁抜粋)

## 時田

大雪の場合は嶺北と嶺南が分断され、嶺北市町への避難ができない可能性があるが、どのように避難するのか。大雪を想定した訓練も実施するべきではないか。

## 防災安全部長

大雪などにより嶺北地域に避難できない場合には、自宅や近傍の放射線防護対策施設で屋内退避を行い、天候が回復し除雪などにより移動の安全が確認できてから避難指示を出すこととなります。今後もこうした訓練等によりまして、対応力の強化に努めてまいります。(答弁抜粋)

## ✓ 活動ダイアリー



12月定例議会

## 秋田県 再生可能エネルギー施設視察

